

自然エネルギー信州ネット

2021 年度定時総会 次 第

日時：2021 年（令和 3 年）5 月 30 日（日）

11：10～12：00

場所：オンライン（zoom）

1. 総会開会の辞・定足数確認（正会員 79 名過半数）
2. 会長あいさつ
3. 顧問あいさつ
4. 議長選出
5. 議事

第 1 号議案 2020 年度 事業報告

資料 1-1

第 2 号議案 2020 年度 収支決算報告および監査報告

資料 2-1 2-2 2-3 2-4

第 3 号議案 2021 年度 役員選任

資料 3 役員名簿（案）

第 4 号議案 規約一部変更の件

資料 4 規約一部変更（案）

第 5 号議案 2021 年度 事業計画（案）

資料 5

第 6 号議案 2021 年度 予算計画（案）

資料 6-1 6-2 6-3

その他、意見交換等

6. 議長退任

7. 閉会

自然エネルギー信州ネット 2020年度活動報告

2020/6/20承認

活動報告:2021年度通常総会(2021/5/30)時点

I 2020年度の活動方針

「計画する」「伝える」「育てる」をモットーに成果の出る活動を、効率的に行う。

- 1) コアセミナーを県内3カ所で開催(世界的、全国的な流れを中心に。最新情報を総合的に得る)
- 2) プロジェクト実行力を上げる。専門部会や自治体、地元との連携。
- 3) 重点地域への立ち上げサポート
- 4) 県や市町村との協働事業

資料①-1

II 活動計画

今期の活動計画詳細

2020年度の活動報告

大項目	内容	施策	担当	担当	本年度活動計画	活動概要	活動報告
1 プロジェクト	信州ネットのプロジェクトチーム	事業立ち上げ、関心グループによる活動など					
1) コアセミナー	1a)「信州自然エネルギー白書」事業	・印刷・配布・報告交流会 ・調査事業	茅野		長野県 突破方針の分析、プロジェクト化、??		(来期に、信州ネット会員の活動リレー紹介:オンライン)
	1b)コアセミナー「気候危機突破」地域会議	「海外でのエネルギーシフト」や環境省の「環境共生循環圏」など、の包括的なセミナー	(茅野、合原)	長野県、浅輪、藤川	総論 ●「長野県気候危機突破方針を読み解く」※6月20日実施 講師:田中信一郎さん(千葉商科大学) 講師:茅野恒秀さん(信州大学) 【講師候補】 田中信一郎さん(千葉商科大学)※実施 茅野恒秀さん(信州大学)※実施 飯田哲也さん(環境エネルギー政策研究所) 高村かおりさん(東京大学)		●「長野県気候危機突破方針を読み解く」※6月20日実施(約70名参加) 講師:田中信一郎さん(千葉商科大学) 講師:茅野恒秀さん(信州大学) →Youtubeにアップ
	1c)ウェブセミナー「気候危機突破」	長野県の気候危機突破方針に関して、内容理解と具体化をウェブ会議で探る。→4d)PJと同じ		浅輪、藤川	2. エネルギーシェア ●「エネルギーを地域でシェアする社会インフラ(1) 熱供給」 ●「エネルギーを地域でシェアする社会インフラ(2) 交通・運輸」 ●「エネルギーを地域でシェアする社会インフラ(3) 産業とイノベーション」 ●「エネルギーを地域でシェアする社会インフラ(4) 地域新電力とエネルギー融通」 【講師候補】 熱供給:松原弘直さん(環境エネルギー政策研究所) 田中いづみさん(デンマーク大使館) 交通・運輸(モビリティ):谷口綾子さん(筑波大学)? http://www.gpnw.jp/?tid=100019 環境イノベーション:河口真理子さん(立教大学) 地域調和/セクターカップリング:西村賢祐さん(ドイツ)		(3)「RE Action 脱炭素中小企業経営」は、グリーン購入ネットワークと、2月25日、3月2日に開催。(合計約70名参加) (4)「新電力と地域融通」は、稲垣憲治さん講師で、3月5日に開催。(約50名参加)
2) 専門分野ごとにセミナーか視察	2a)太陽光O&M(信州ソーラーパトロール)の認定事業	認定の基準や体制を構築し、認定を開始する。 松本地域の野立てPVの保守状況の調査	茅野、合原、小野、菅沼		信州大学茅野研究室と共同で作成する。		松本地域のすべてのPVを確認し、アンケート調査をした。
	2b)ソーラーシェアリング支援事業	長野県内でソーラーシェアリング事業を営農中心で行うことを支援する。	合原		農業と共生するソーラーシェアリング事業を進める。		問合せに対して、アドバイザー事業を継続中。そのうち、県内で4カ所ほどが実現化に向けて動き始めている。
	2c)省エネプロジェクト	4d)と連携して、「健康エコ建築」を拡大する。		高木	3. 省エネルギー ●「産業の省エネルギーポテンシャル」 ●「住宅・建築のパスシブでサステナブルで快適なあり方」 【講師候補】 産業:歌川学さん(産総研) 住宅建築:竹内昌義さん(エネルギーまちづくり社) 高木直樹さん(信州大学)		9/19-20白馬高校の断熱改修を支援した。計測、比較などの結果報告も支援中。 他の地域でも断熱DIYワークショップなどが行われている。
	2d)屋根ソーラー拡大プロジェクト	4d)の再エネ普及PJの個別PJの「全ての屋根にソーラー」と連携	合原、小野、菅沼	浅輪、藤川	設置の課題事例を洗い出し、解決策を提案する。6月中旬にブックレットを作成		9月にチラシを作成。HPを作成。(ブックレットから計画変更) http://www.shin-ene.net/pv セミナー実施 ●「屋根ソーラー100%を目指して。太陽光のあるべき姿」※10月24日開催(約70名参加) 講師:櫻井啓一郎さん(産業総合研究所) →項目ごとにYoutubeにアップ中 ●県の普及動画作成に助言など。 http://www.shin-ene.net/pv-nagano

3) 重点地域への立ち上げサポート	2e)エネルギーまちづくりプロジェクト	コンパクトシティ、地域熱供給網、交通シェアリング、断熱集合建築など社会インフラの変革	(浅輪)	1.持続可能なまちづくり 豊かな自然と、実り豊かな農山村、賑わいのある街なか、それを次の世代に引き継ぐ。 気候危機突破プロジェクト「脱炭素まちづくり」につなげます。 ●「持続可能な森林」※ 8月22日、8月29日、9月2日連続開催 講師：池田憲昭さん(ドイツ・Arch Joint Vision社代表) ●「持続可能な農村」 ●「持続可能な街なか」※ 10月19日開催。 講師：村上敦さん(ドイツ・環境ジャーナリスト) 【講師候補】 森林：池田憲昭さん(ドイツ)※参加了承、 植木達人さん(信州大学) 農村：石田信隆さん(一橋大学) まちづくり：諸富徹さん(京都大学) 村上敦さん(ドイツ) 10月19日(月) 佐無田光さん(金沢大学)	●「持続可能な森林」※ 8月22日、8月29日、9月2日連続開催(各回80名ほど参加) 講師：池田憲昭さん(ドイツ・Arch Joint Vision社代表) ●「持続可能な街なか」※ 10月19日開催。(オンライン120名。会場80名ほど参加) 講師：村上敦さん(ドイツ・環境ジャーナリスト) ●「持続可能な農村」※2月26日開催。(約70名参加) 講師：石田信隆さん(農林中金総合研究所)： →内容の要旨や一部動画などHPにアップ。
	3a)事業化支援事業(鬼無里)	・鬼無里「あるをつくる」事業化支援 地域で薪を集める仕組みづくり	(茅野) 小田切、原田	豪雪対応のソーラーを先進的に開発。これを基盤として、新ステーションなど中山間地での取り組みを進める。	廃校を使ったイベントや里山事業、シェアオフィスなど実践中。
	3b)白馬でのSDGsリゾート連携協力プロジェクト	(1) 白馬村、近隣の市町村および長野県の担当者と一緒に、自治体の計画、実行成果、見直し、などを一緒に行う住民ワークショップを3回以上、開催。 (2) すぐに実行しやすい省エネ・シェア事業のアイデア出しを行い、アクションを開始。ワークショップで優先順位をつけたものを各地域1つ以上、実行。	高木(浅輪) 小松、高田、草本、坪井	住民ワークショップを各回30人以上の参加で3回ずつ行います。 各地域で50以上のアイデア出しを行い、自主的に工夫して実行する能力を高めることができます。 省エネ事業は、僅かな効果でも数多くの住民がすぐ始められるものを選び出し、まち全体での実施例を増やし、温暖化対策効果を高めます。 学校断熱DIYプロジェクト まちで一番古い冷蔵庫コンテスト(省エネ家電の普及キャンペーンとしての話題) 学校教室や古民家の断熱改修DIYプロジェクト、 自転車のシェアやサイクリングロードマップづくりなど、	9月19-22日 白馬高校断熱プロジェクト(総数70名ほど参加。多数のメディアなどで取り上げられた)スキー場でのカープール取り組み。(POW-Japanなどが提案) Hakuba Valley DMOでのSDGs取り組み。
	3c)松本でのSDGsワークショップ	(1) 松本市、近隣の市町村および長野県の担当者と一緒に、自治体の計画、実行成果、見直し、などを一緒に行う住民ワークショップを3回以上、開催。 (2) すぐに実行しやすい省エネ・シェア事業のアイデア出しを行い、アクションを開始。ワークショップで優先順位をつけたものを各地域1つ以上、実行。	平島、茅野 藤森	住民ワークショップを各回30人以上の参加で3回ずつ行います。 各地域で50以上のアイデア出しを行い、自主的に工夫して実行する能力を高めることができます。 省エネ事業は、僅かな効果でも数多くの住民がすぐ始められるものを選び出し、まち全体での実施例を増やし、温暖化対策効果を高めます。 学校断熱DIYプロジェクト まちで一番古い冷蔵庫コンテスト(省エネ家電の普及キャンペーンとしての話題) 学校教室や古民家の断熱改修DIYプロジェクト、 自転車のシェアやサイクリングロードマップづくりなど、	11月7日 地球の道と四賀の道 開催(40名ほど参加) 四賀の里、100%リニューアブルバレー構想 計画中
	3d)小谷プロジェクト	・小水力発電のリブレース。 ・地中熱利用の検討事業。 ・断熱DIY改修ワークショップ	高木(浅輪) 新井	提案書を持って、検討に入る。事業計画見極め。資金調達の方法など。	プロジェクト可能性を検討 1)先進モデル地域の調査 2)地域の再エネの提案:小水力ほか 3)役場の使用エネルギー調査、および、省エネ提案など。案を共有した。
4) 県や市町村との協働事業	4a)「自然エネルギー産業クラスター」形成の研究	長野県の研究会に継続参加。海外国内の事例の研究。専門家との連携。	平島 合原	県内企業などの課題などを聞き取り、実態調査。	RE Action に関してプロジェクト・インタビュー実施。(様々な分野の企業約10社)来期には、中小企業のRE推進のためのアドバイス・支援事業を行う(1e)
	4b)市民共同発電全国フォーラム実行委員	千葉にて12回目の開催。団体として実行委員に参加。	(浅輪)	実行委員として参加し、各地の取り組みを聞き取ったり、意見交換を行う。	本年度は中止。
	4c)県林務部薪・ペレットストーブ普及啓発事業(未定)	・啓発イベントの開催 ・紹介ブックレットの作成 ・安曇野の薪ストーブ使用状況報告会	(浅輪)	本年度の実行はまだ未定。	本年度は中止。 (3月、ブックレットのデータ再編集)

(新規プロジェクト立ち上げ)	4d)気候危機突破プロジェクト連携	・コンパクト+ネットワークまちづくり ・地域と調和した再エネ普及拡大 ・健康エコ住宅普及促進 ・ゼロカーボンビル化促進 ・SDGs&ESG投資促進 ・ゼロカーボン実現新技術等促進 ・世界標準のRE100リゾート	茅野 浅輪	各プロジェクト 1つずつ、ウェビナーを開く。 4. 創エネルギー ●「屋根ソーラー100%を目指して。太陽光のあるべき姿」※10月24日開催 講師：櫻井啓一郎さん(産業総合研究所) ●「熱をどうサステナブルに得るか？」 ●「地域が支える小水力利用」(その他、企画中) 【講師候補】 太陽光：櫻井啓一郎さん(産総研)※参加了承 熱利用：??中田俊彦さん(東北大学)? 水力：飯尾昭一郎さん(信州大学)	●「屋根ソーラー100%を目指して。太陽光のあるべき姿」※10月24日開催(約70名参加) 講師：櫻井啓一郎さん(産業総合研究所) オンラインセミナーを連続で実施中。 2021年度継続予定
		プロジェクトチーム提案に対しての支援・協力			各専門部会の問い合わせ窓口、ヘルプデスクなどの新設を行う。
		1c)人材育成事業	独自の人材育成事業の立ち上げ「計画する」「伝える」「育てる」	各PJへの参加者を募る、パワーアップミーティングの開催?飯田自然エネルギー大学との連携?	パワーアップミーティングを11月29日に実施。塩尻会場&オンラインで。小谷プロジェクトの例、および、3種類の新規プロジェクト提案があった。
		1d)人材育成事業	各地域に地域エネルギーアドバイザー、中間支援的役割を担える人材/組織化を行う	市町村や、中小企業などで専門知識がないので、地域エネルギーの活用が進まないという声を聞く。それにどう対応するか、対応策を考える。	2021年度に向けて、自治体のゼロカーボン推進計画の策定支援事業、モデル事業など計画。サポート体制を構築するために、補助金などを含め、申請していく。
		1e)人材育成事業	中小企業のRE推進のためのアドバイザー・支援事業を行う	市町村や、中小企業などで専門知識がないので、地域エネルギーの活用が進まないという声を聞く。それにどう対応するか、対応策を考える。	2021年度に向けて、地域密着型などで、複数の中小企業の戦略・技術サポートができるように、補助金などを含め、申請していく。
2	SUWACO Labo、長野県との協定事業	SUWACO Labo 事業成果報告ならびに情報発信業務 自然エネルギー普及活動(一般の人に親しみを持ってもらう活動) 信州自然エネルギーマルシェ 9月26日(土)諏訪市文化センターは予約済み。ただし、より、自然エネルギー普及に効果のある形もあるか、検討中。 ・事業成果発表会の開催・事業報告・分析データの情報公開、情報発信 ・自然エネルギー普及イベント等の開催(年3回) ・地域協議会等、各種イベントへの参加・支援 ・上記の事業を行うための事務局の維持	平島 浅輪 藤岡、宮坂	感染予防、並びに、波及効果を検証して、より即効力のある取り組みも必要か?検討の上、成果発表会を実行する。	・10月24日に茅野で屋根ソーラーオンラインセミナー実施。オンライン中継あり。 現在、テーマごとの編集動画をアップ中。 ・その他、気候危機突破連続セミナー開催中。
3	地域協議会との連携強化	活動成果を他地域に波及させる地域協議会との連携強化	SUWACO Labo事業などにて交流会を行う。ウェブ交流会?		コロナ禍もあり、各地域での予定通りの実施が難しい状況。 各地域の要望に応じて、資料などの共有。
2)専門分野ごとにプロジェクト支援専門性の向上事業事業拡大	5専門部会により、専門性のあるテーマを設定し、会員への活動成果提供を進める			各専門部会が策定する活動計画による	
	・太陽光部会	PJ:2a)、2b)のサポート	中村 嘉寿良氏		3月、長野県普及動画への意見だし
	・小水力部会	PJ:3d)のサポート	丸山 幹夫氏		
	・バイオマス部会	PJ:3c)、4c)県林務部などのサポート	田中守氏		
	・グリーン熱部会	地域熱供給の研究?	中村 嘉寿良氏		
	・政策調査部会	PJ:1)のサポート	平島		

議題：
(2020-12-
29 運営会
議より)

(1)会員規定 学生会員の新設など		ユース会員枠として、 1)情報会員で、ユース枠を作る。 2)専門部会に似せて、ユース部会/ネットワークをメーリスか slack、LINE グループなどで作り、交流、情報交換、地域と専門を超えた交 流を進めたい。 3)ユースの新しい視点、と、現会員の蓄積された経験を混ぜ合 わせて、成功例をどんどんつくっていきたい。	ユース会員新設を次期総会で決定する
運営理事・委員（仮）の新設		各プロジェクト、各地域や専門分野の間の相互ネットワーク、 情報交換、専門知識の取得の場を設ける。現状共有の活性化 、信州ネット運営事務力の向上、ダイバーシティなどの観点か ら、運営会員のような形を新設する。	
(2)専門部会の相談窓口の設定な と		現在の部会員に公表を確認して、アップデートする 良くある質問(FAQ)を専門サイトに載せたらどうか。 PDF、リンク、動画	
(3)各地域でのゼロカーボン計画 作成への支援		・各自治体がゼロカーボン計画(地球温暖化防止実行計画など)を策定、改訂するときのモデルを作る。 ・信州ネットの会員(個人/団体)、そして行政会員が、温暖化対 策計画を作るときガイドライン、マニュアル、ミニセミナー、ワークショップなどを行う。 ・こういう順番で作っていきませんか、という小さなペーパーも 連続して出していく。 ・計画策定への住民参加の方法、パブコメの書き方。などのレ クチャー。 ・地域エネルギーマネジメントシステム。全体最適像を考える。 ・まずは、現在の自治体の計画を読み解こう、の会。 ・自治体での継続的な計画作成/実行をサポートする(担当が 変わっても)信州ネット会員を増やす。 ・現在の各自治体の作成状況を、長野県とも一緒に調べる。	(中間支援組織としてのパワーアップ)
(4)今後の一般/専門セミナーの 内容への要望		建築、バイオマスなどの要望が多いか	

【地域協議会】

自然エネルギー長野北信地域協議会
自然エネルギー上小ネット
自然エネルギーネットまつもと
自然エネルギー佐久地域協議会
自然エネルギー信州ネットSUWA
上伊那自然エネルギー普及協議会
自然エネルギー木曽地域協議会
南信州自然エネルギー普及協議会

■2020年度 決算報告 概要

- ・（任意団体）信州ネットは、会費が前年比16,000円の微増。
予算にあった薪ペレット事業約50万円が中止になり収入減少。
しかし、年度末にグリーン購入ネットワークのRE Action事業約17万円を受託などし収入増もあった。
結果、予算収入3,366,465円に対し、3,043,448円と-323,017円減少。
- ・支出はオンライン中心に動いた結果、印刷製本費（チラシなど）旅費交通費、臨時アルバイト代、会場費、消耗品費などが予算より減少。
結果、予算支出 3,387,841円に対し、2,974,846円と、-412,995円減少。
- ・よって、収支は68,602円の黒字。
- ・税制上の公益事業と収益事業別の収支に関しては、家賃や通信費などの固定費を収入割合で配分、
結果、下記の通り、公益事業が黒字、収益事業が赤字。
- ・（一社）信州ネットは、任意団体からの事務委託収入が前年より15万円ほど増加（ほぼ予算通り）。
地域重点型事業（白馬&松本）の原資である積水助成事業は、前年より30万円増加（予算通り）。
結果、予算収入 2,934,665円に対し、2,998,999円と 64,334円の増加。
- ・支出は、オンライン化により交通費、委託費、印刷製本費、アルバイト代が減少。セミナー講師代が上昇。
結果、予算支出 2,784,665円に対し、2,630,274円と -154,391円減少。
- ・よって、収支は368,725円の黒字（前年度は、250,085円の赤字）。

収入割合				一社）ネット			
	信州ネット	20.7%	79.3%				
	全事業	公益事業	収益事業		全事業	事務委託	積水ハウス
前期繰入金	2,983,128	-	-	前期	-119,274	-	-
今期 収入	3,043,448	629,016	2,414,432	収入	2,998,999	1,998,999	1,000,000
今期支出	2,974,846	187,303	2,787,543	支出	2,630,274	1,579,321	1,050,953
今期収支	68,602	441,713	-373,111	収支	368,725	419,678	-50,953
次期繰越金	3,051,730	-	-	繰越	249,451	-	-
注記							

注記

公益事業		収益事業			(分配管理費)
会費	その他	SUWACO	薪ペレ	その他	
今期 収入	629,016		2,000,000		414,432
今期支出	187,303		2,100,035		687,508
今期収支	441,713	0	-100,035	0	-273,076
注記	会費昨年より16,000円の増。企業会員 -1名 団体会員 -2名 個人会員 -2名 準会員 +10名 賛助会員 +1名	(前年度はG20事業あり)	一社ネット事業への委託が増加。	コロナ禍のため中止	REAction事業委託収入など。管理費の収入割合分で支出超過。
					事務所家賃24万、事務品・通信・手数料など約40万、租税約7万、税理約12万

・前年度との比較

				一社）ネット			
	全事業	公益事業	収益事業		全事業	事務委託	積水ハウス
収入	-629,827	-445,809	-184,018	-115,493	+514,334	+214,334	+300,000
支出	-717,663	-377,009	-340,654	-822,139	-104,476	-205,626	+99,683
収支	+87,836	-68,800	+156,636	706,646	+618,810	+418,493	+200,317

G20分、寄付分 薪ペレット
減少。 分減少売上上昇、
交通費低下 助成金上昇

★詳細は、資料②-2 を参照。

2, 983, 128
68, 602
3, 051, 730

資料②-3

部門別	部門別	部門別	部門別	部門別	部門別	部門別
事務所事務委託				積水ハウス事業		
実算	予算	実算	(前年度)	実算	予算	実算 (前年度)
1,680,000	1,784,500	SUWACO事務委託	1,784,500			
318,835	150,000	積水PJ事業自己負担分	0			
0	0		0			
0	0		0			
0	0		0	1,000,000	1,000,000	積水 700,000
0	0		0			
0	0		0			
4	5		5			
160	160		160			
0	0		0			
0	0		0			
1,998,999	1,934,665		1,784,665	1,000,000	1,000,000	700,000
事務所事務委託				積水ハウス事業		
実算	予算	実算	(前年度)	実算	予算	実算 (前年度)
0	0		0	0	0	0
207,500	641,250	事務局スタッフ	401,250	453,250	0	事務局スタッフ 260,500
0	0		0		87,000	イベントスタッフ 56,000
0	0		0		0	0
0	0		0	234,000	100,000	講師謝金 81,000
20,400	44,941	スタッフ移動	44,941	172,889	210,000	講師移動、スタッフ移動 231,000
930,000	999,815	専門事務委託	999,815	122,093	222,000	デザイン、イベント運営、広告宣伝 222,000
0	0		0		18,000	0
0	0		0	27,775	120,000	チラシ、配布資料印刷 16,500
0	0		0		0	0
0	0		0		0	0
105,779	55,855	ネット使用、ズーム、会計ソフト	17,295	24,111	0	zoom使用料 0
	3,980	インク代など	3,980	5,025	0	消耗品費 0
455	5,934	郵送代	5,934	8,400	0	郵送料、通信費など 0
0	0		0		0	0
0	0		0		0	0
0	0		0		0	0
5,170	3,752	カード／振込手数料	4,665	3,410	5,000	振込手数料など 3,070
30,000	30,000	ご当地エネルギー	30,000		0	0
80,550	0	法人住民税	81,200		81,200	81,200
198,000	155,938	税理士報酬	194,400		0	0
1,577,854	1,941,465		1,783,480	1,050,953	843,200	951,270
短期借入金利息						
1,467						
1,579,321	1,941,465					
事務所事務委託		(昨年度)	積水ハウス事業			
419,678	-6,800	1,185	-50,953	156,800	-251,270	
368,725	150,000	合計				
0						

科目	
役員報酬	
給料	
アルバイド代	
法定福利費	
諸謝金	
旅費交通費	
委託費	
会場費	
印刷製本費	
賃料	
地代家賃	
借損料・役務費	
消耗品費	
通信運搬費	
会議費	
光熱費	
雑費	
支払手数料	
諸会費	
租税公課	
税理士報酬	
支出計:	
支払利息	
全費用計	

收支：

2020（令和 2）年度監査報告書

2020 年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告いたします。

1. 自然エネルギー信州ネットの規約により監査した結果、自然エネルギー信州ネットの会計収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、本団体の収支の状況を正しく示していると認めます。

2021（令和 3）年 5 月 13 日

監 事 宮入 賢一郎 ⑩

2021（令和 3）年 5 月 28 日

監 事 金子 和寛 ⑩

自然エネルギー信州ネット 役員名簿（案）

2021年(R03) 通常総会

資料3

一般社団法人自然エネルギー信州ネット 役員名簿（案）

2021～2022（R03～R04）年度役員（2年間）			
役職名	氏名	地域	所属
会長（重任）	高木 直樹	長野・北信	信州大学名誉教授
理事（重任）	平島 安人	松本	自然エネルギーネットまつもと（代表）
理事（重任）	合原 亮一	上小	NPO法人上田市民エネルギー 理事
理事（重任）	茅野 恒秀	松本	信州大学人文学部准教授
理事（重任）	菅沼 利和	南信州	おひさま進歩エネルギー株式会社 南信州 自然エネルギー普及協議会
理事（新任推薦）	新井 東珠	大北	小谷生活エネルギー研究所
			プロジェクト／地域の関係者が集う連絡会 議？
理事 （退任）	小野 要	佐久	鈴与マタイ株式会社 自然エネルギー佐久 地域協議会
監事（重任）	宮入 賢一郎	長野・北信	NPO法人 CO2バンク推進機構
監事（重任）	金子 和寛	上小	公認会計士・税理士・不動産鑑定士
顧問	茅野 實	長野・北信	前会長
顧問	飯田 哲也		ISEP代表
顧問	中島 恵理		元環境省
顧問	柳原 健		長野県ゼロカーボン推進室長
事務局長（重任）	浅輪 剛博	上小	一般社団法人NECO企画部長

前期より変更の色

運営会議推

薦

総会議決

会長推薦

総会議決

会長推薦

総会議決

会長推薦

総会議決

会長推薦

総会議決

会長推薦

総会議決

会長推薦

総会議決

会長選任

会長選任

会長選任

会長選任

会長選任

2021～2022（R03～R04）年度役員（2年間）	
役職名	氏名
代表理事	高木 直樹
理事（重任）	平島 安人
理事（重任）	合原 亮一
理事（重任）	茅野 恒秀
理事（重任）	菅沼 利和
理事（新任推薦）	
0	0
理事（退任）	小野 要
監事（重任）	宮入 賢一郎
監事（重任）	金子 和寛
事務局長（重任）	浅輪 剛博

第4号議案 規約一部変更の件

案：現行規約の一部を次の通り改めることを提案します。

1. 変更の理由

- ① 若年層の気候変動に関する活動が活発化してきていますので、自然エネルギー信州ネットとしても最大限サポートできるように、準会員と同じ権利を持ちつつ、年会費を無料とするユース会員を新設します。対象として、22歳以下で、希望するものとするのはどうでしょうか。
- ② 第6条4に、突然「除名」の語句が出てきますが、どのような場合に除名になるか、他に記載がありません。他の会員の活動阻害や会の目的にそぐわない行動などの理由で運営会議にて除名できるとしたらどうでしょうか。
- ③ 解散した場合の残余財産の帰属は、非営利性を徹底するために、公益法人や自治体などに贈与すると規定を追加したらどうでしょうか。

2. 変更の内容

具体的な規約の変更文案は次の通りです。

(変更部分、下線)

現行規約	変更案
第6条（会員） ①（条文省略） ② 本会の活動に参加する個人は準会員となることができる。本会の活動を支援する個人・団体等は賛助会員、情報交換などにより会の活動に参加するのみの個人・団体は情報会員となることができる。また、行政の立場から信州ネットの円滑な運営を支援する団体は行政会員となることができる。 準会員および賛助会員、情報会員、行政会員は、会長に申し出ることによって任意に入退会することができる。	①（現行通り） ② 本会の活動に参加する個人は準会員となることができる。なお、 <u>事業年度開始日に年齢22歳以下のものは、希望してユース会員となることができる。</u> 本会の活動を支援する個人・団体等は賛助会員、情報交換などにより会の活動に参加するのみの個人・団体は情報会員となることができる。また、行政の立場から信州ネットの円滑な運営を支援する団体は行政会員となることができる。 準会員および賛助会員… （以下、現行通り）
③（条文省略） ④ 会員が次の各号に該当するに至ったときは、その資格を喪失する。 ・退会届の提出をしたとき。 ・本人が死亡、または会員である団体が消滅したとき。	②（現行通り） ④ 会員が次の各号に該当するに至ったときは、その資格を喪失する。 ・退会届の提出をしたとき。 ・本人が死亡、または会員である団体が消滅したとき。

・継続して2年以上会費を滞納したとき。 ・除名されたとき。	・継続して2年以上会費を滞納したとき。 ・他の会員の活動を阻害したり当会の目的に合わない行動をするなどの理由により、運営会議において除名されたとき。
●第11条(解散) 総会の総意により本会を解散することができる。解散時に残預金がある場合は解散時の総会によって処分を決定することとする。	●第11条(解散) 総会の総意により本会を解散することができる。解散時に残預金がある場合は解散時の総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。 (※参考)
●自然エネルギー信州ネット 会費細則 (条文省略)	●自然エネルギー信州ネット 会費細則 (正会員、準会員、現状通り) ユース会員:0円【決議権なし】 ※事業年度開始時に22歳以下で本会の活動に参加する個人。 (以上、追加。以下、現状通り)

(※参考)

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条

十七 第二十九条第一項若しくは第二項の規定による公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）において、公益目的取得財産残額（第三十条第二項に規定する公益目的取得財産残額をいう。）があるときは、これに相当する額の財産を当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から一箇月以内に類似の事業を目的とする他の公益法人若しくは次に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与する旨を定款で定めているものであること。

イ 私立学校法（昭和二十四年法律第二百七十号）第三条に規定する学校法人

ロ 社会福祉法（昭和二十六年法律第四十五号）第二十二条に規定する社会福祉法人

ハ 更生保護事業法（平成七年法律第八十六号）第二条第六項に規定する更生保護法人

ニ 独立行政法人通則法（平成十一年法律第百三十三号）第二条第一項に規定する独立行政法人

ホ 国立大学法人法（平成十五年法律第百十二号）第二条第一項に規定する国立大学法人又は同条第三項に規定する大学共同利用機関法人

ヘ 地方独立行政法人法（平成十五年法律第百十八号）第二条第一項に規定する地方独立行政法人

ト その他イからヘまでに掲げる法人に準ずるものとして政令で定める法人

I 2021年度の活動方針

「計画する」「伝える」「育てる」をモットーに成果の出る活動を、効率的に行う。

- 1) コアセミナーを継続開催（世界的、全国的な流れを中心に。最新情報を総合的に得る）
- 2) プロジェクト実行力を上げる。専門部会や自治体、地元との連携。
- 3) 重点地域への立ち上げサポート
- 4) 県や市町村との協働事業

II 活動計画

大項目	内容	施策	担当	担当	本年度 活動概要
プロジェクト	信州ネットのプロジェクトチーム	事業立ち上げ、関心グループによる活動など	理事	会員など	
1) コアセミナー	1a)「信州自然エネルギー白書」事業	・印刷・配布・報告交流会 ・調査事業	茅野		長野県 突破方針、ゼロカーボン戦略の分析、プロジェクト化。 現在までの調査結果を一度まとめて、HPなどに掲載。
	1b)コアセミナー「気候危機突破」地域会議	「海外でのエネルギーシフト」や環境省の「環境共生循環圏」など、の包括的なセミナー	（茅野、長野県、合原、浅輪、藤川）		総論 ●「地域エネルギー中間支援組織の未来ーオーストリアに学ぶ」 講演：平岡俊一氏（滋賀県立大学環境科学部講師） 2021年5月30日（日） 9:40～11:00まで 【ほか講師候補】 田中新一郎さん（千葉商科大学）※実施 茅野恒秀さん（信州大学）※実施 飯田哲也さん（環境エネルギー政策研究所） 高村かおりさん（東京大学）
	1c)ウェブセミナー「気候危機突破」	長野県の気候危機突破方針に関して、内容理解と具体化をウェブ会議で探る。→4d) PJと同じ	浅輪		2. エネルギーシェア ●「エネルギーを地域でシェアする社会インフラ（1）熱供給」 ●「（2）交通・運輸」 ●「（3）産業とイノベーション」 ●「（4）地域新電力とエネルギー融通」 【講師候補】 熱供給：松原弘直さん（環境エネルギー政策研究所） 田中いづみさん（デンマーク大使館） 交通・運輸（モビリティ）：谷口綾子さん（筑波大学） 環境イノベーション：河口真理子さん（立教大学） 地域調和／セクターカップリング／新電力：西村賢祐さん（ドイツ）ほか
2) 専門分野ごとにセミナーか視察	2a)太陽光O&M（信州ソーラーパトロール）の認定事業	認定の基準や体制を構築し、認定を開始する。 感染状況を見て研修会を行う。	茅野、合原、菅沼		どのような支援が望ましいか、聞き取り調査を行う。
	2b)ソーラーシェアリング支援事業	長野県内でソーラーシェアリング事業を営農中心で行うことを支援する。	合原		検討中の案件の実現を目指して支援を続ける。 先進事例の視察会を行う。
	2c)省エネプロジェクト	4d) と連携して、「健康エコ建築」を拡大する。	高木		3. 省エネルギー ●「産業の省エネルギーポテンシャル」 ●「住宅・建築のパスシブでサステナブルで快適なあり方」 【講師候補】 産業：歌川学さん（産総研） 住宅建築：竹内昌義さん（エネルギーまちづくり社） 高木直樹さん（信州大学）

3) 重点地域への立ち上げサポート	2d)屋根ソーラー拡大プロジェクト	4d) の再エネ普及PJの個別PJの「全ての屋根にソーラー」と連携	合原、菅沼、浅輪	各専門部会&PJで、よくある質問集を作る
	2e)エネルギーまちづくりプロジェクト	コンパクトシティ、地域熱供給網、交通シェアリング、断熱集合建築など 社会インフラの変革 ●「持続可能な森林」 ●「持続可能な農村」 ●「持続可能な街なか」	浅輪	1.持続可能なまちづくり 豊かな自然と、実り豊かな農山村、賑わいのある街なか、それを次の世代に引き継ぐ。 気候危機突破プロジェクト「脱炭素まちづくり」につなげます。 【講師候補】 森林：植木達人さん（信州大学） 農村：石田信隆さん（一橋大学） まちづくり：諸富徹さん（京都大学） 佐無田光さん（金沢大学）
	3a)事業化支援事業（鬼無里）	・鬼無里「あるをつくす」事業化支援 地域で薪を集める仕組みづくり	（茅野 小田切、原田）	管理する森林を使った事業を新たに開始する。
	3b)白馬でのSDGsリポート 連携協力プロジェクト	(1) 白馬村、近隣の市町村および長野県の担当者と一緒に、自治体の計画、実行成果、見直し、などと一緒に住民ワークショップを開催。 (2) すぐに実行しやすい省エネ・シェア事業のアイデア出しを行い、アクションを開始。ワークショップで優先順位をつけたものを各地域1つ以上、実行。	高木（浅輪）、小松、高田、草木、坪井	アイデア段階の計画やアクションを効果の高いものにしていくために、専門家と一緒に、低炭素まちづくり計画を住民主体で作っていく年です。地域全体の未来ビジョンを共有して、行動につなげていきます。 (1) 住民ワークショップ合宿を各地域で2日以上、開催します。 (2) 結果を郵送してアンケートを取り、必要に応じて訪問インタビューし、広い住民の考えをさらに計画に反映させます。 (3) 省エネとシェアのプロジェクトを各地域で3つ以上、新たに開始します。 自治体のゼロカーボン計画へのサポートも行います。
	3c)松本でのSDGsワークショップ	(1) 松本市、近隣の市町村および長野県の担当者と一緒に、自治体の計画、実行成果、見直し、などと一緒に住民ワークショップを開催。 (2) すぐに実行しやすい省エネ・シェア事業のアイデア出しを行い、アクションを開始。ワークショップで優先順位をつけたものを各地域1つ以上、実行。	平島、藤森、茅野、浅輪	アイデア段階の計画やアクションを効果の高いものにしていくために、専門家と一緒に、低炭素まちづくり計画を住民主体で作っていく年です。地域全体の未来ビジョンを共有して、行動につなげていきます。 (1) 住民ワークショップ合宿を各地域で2日以上、開催します。 (2) 結果を郵送してアンケートを取り、必要に応じて訪問インタビューし、広い住民の考えをさらに計画に反映させます。 (3) 省エネとシェアのプロジェクトを各地域で3つ以上、新たに開始します。 四賀地区、及び、中町などでの実行を予定しています。
	3d)小谷プロジェクト	・小水力発電のリブレース。 ・地中熱利用の検討事業。 ・断熱DIY改修ワークショップ	高木（浅輪 新井）	プロジェクト可能性を検討。 実現に向け動く。 1)先進モデル地域の調査 2)地域の再エネの提案：小水力ほか 3)村内の使用エネルギー調査、および、省エネ提案など。
4) 県や市町村との協働事業	4a)「自然エネルギー産業クラスター」形成の研究	長野県の研究会に継続参加。 海外国内の事例の研究。専門家との連携。	平島、合原	地域再エネ事業の持続性向上のための連続セミナー&個別アドバイス事業を行う。
	4b)市民共同発電全国フォーラム実行委員	12回目の開催。団体として実行委員に参加。	（浅輪）	本年度の実行はまだ未定。

(新規プロジェクト立ち上げ) 1) コアセミナー	4c)県林務部 薪・ペレット ストープ 普及啓発事業	・啓発イベントの開催 ・紹介ブックレットの作成 ・安曇野の薪ストープ使用状況報告会	(浅輪)	本年度の実行はまだ未定。
	4d)気候危機突破プロジェクト連携	・コンパクト+ネットワークまちづくり ・地域と調和した再エネ普及拡大 ・健康エコ住宅普及促進 ・ゼロカーボンビル化促進 ・SDGs&ESG投資促進 ・ゼロカーボン実現新技術等促進 ・世界標準のRE100リゾート	茅野 浅輪	各プロジェクト 1つずつ、ウェビナーを開く。 4. 創エネルギー ●「屋根ソーラー100%を目指して。太陽光のあるべき姿」 ●「熱をどうサステナブルに得るか？」 ●「地域が支える小水力利用」 (その他、企画中) 【講師候補】 太陽光：櫻井啓一郎さん（産総研） 熱利用：中田俊彦さん（東北大学） 水力：飯尾昭一郎さん（信州大学）
	プロジェクトチーム提案 に対する支援・協力	・事業化支援を行う人材（会員）のチームアップ 広報支援、専門部会による支援、事業化支援		信州ネット会員の活動リレー紹介：オンライン
	1c)人材育成事業	独自の人材育成事業の立ち上げ 「計画する」「伝える」「育てる」		各PJへの参加者を募る、パワーアップミーティングの開催。 「ユース会員」「SNS系のグループ（Facebook、Slackなど）」を新設する。
	1d)人材育成事業	各地域に地域エネルギーアドバイザー、中間支援的役割を担える人材／組織化を行う	高木、平島、茅野	自治体のゼロカーボン推進計画の策定支援事業、モデル事業など計画。サポート体制を構築するために、補助金などを含め、申請していく。
	1e)人材育成事業	中小企業のRE推進のためのアドバイス・支援事業を行う	平島、茅野	地域密着型などで、複数の中小企業の戦略・技術サポートができるように、補助金などを含め、申請していく。
	1f)中間支援体制づくり	地域で事業を行う団体、企業、自治体を支援し、ヘルプデスクとして機能する。		FAQをホームページなどで作成して、よくある疑問に答えられるようにする。また、電話やフォームなどで常時間問い合わせに答えたり、専門家などを紹介できるようにする。
2 長野県との協定事業	SUWACO Labo 事業成果報告ならびに情報発信業務 自然エネルギー普及活動（一般の人に親しみを持ってもらう活動）	信州自然エネルギーマルシェ 9月26日（土）諏訪市文化センターは予約済み。ただし、より、自然エネルギー普及に効果のある形もあるか、検討中。 ・事業成果発表会の開催 ・事業報告・分析データの情報公開、情報発信 ・自然エネルギー普及イベント等の開催（年3回） ・地域協議会等、各種イベントへの参加・支援 ・上記の事業を行うための事務局の維持	平島 藤岡、浅輪 宮坂	波及効果を検証して、より即効力のある取り組みを行う。
3 地域協議会との連携強化	活動成果を他地域に波及させる 地域協議会との連携強化	SUWACO Labo事業などにて交流会を行う。ウェブ交流会？		
専門部会活動	5専門部会により、専門性のあるテーマを設定し、会員への活動成果提供を進める			各専門部会が策定する活動計画による
2) 専門分野ごとにプロジェクト支援 専門性の向上事業 事業拡大	・太陽光部会	PJ：2a)、2b) のサポート	中村 嘉寿良	各専門部会&PJで、よくある質問集を作る
	・小水力部会	PJ：3d) のサポート	丸山 幹夫	各専門部会&PJで、よくある質問集を作る
	・バイオマス部会	PJ：3c)、4c)県林務部 などのサポート	田中守	各専門部会&PJで、よくある質問集を作る
	・グリーン熱部会	地域熱供給の研究？	中村 嘉寿良	各専門部会&PJで、よくある質問集を作る
	・政策調査部会	PJ：1) のサポート	平島	各専門部会&PJで、よくある質問集を作る

■2021年度 予算

- ・任意団体 信州ネットは収入支出とも、前年度並みを計上。
- ・一社) ネットは、任意からの事務委託は前年度並みを計上。
他、補助事業では、前年と同額の積水助成事業に加えて、人材育成や中間支援団体関連の補助事業を合計して500万円ほど拡充する。各種補助事業や委託事業に積極的に申請する。

収入割合							
信州ネット		22.2%	77.8%	一社) ネット			
全事業		公益事業	収益事業				
前期繰入金	3,051,730	-	-	前期	全事業	事務所事務委	ほか補助事業
					249,451	-	-
今期 収入	3,034,015	674,015	2,360,000	収入	8,080,165	1,980,165	6,100,000
今期支出	2,886,720	221,434	2,665,286	支出	8,075,500	1,635,500	6,440,000
今期収支	147,295	452,581	-305,286	収支	4,665	344,665	-340,000
次期繰越金	3,199,025	-	-	繰越	254,116	-	-

公益事業		収益事業		(分配管理費)
全体	0	SUWACO事業	その他事業	
今期 収入	674,015	2,000,000	360,000	902,372
今期支出	221,434	1,929,008	736,278	
今期収支	452,581	0	-376,278	
注記	収：会員数増減なしとして 支：管理費の収入割合		収：調査委託事業収入など 支：管理費の収入割合	

★詳細は、資料⑥-2 を参照。

予算				部門別		部門別		部門別		部門別		部門別		部門別		部門別			
予算				22.22%		全事業に対する収入割合。		77.78%		全事業に対する収入割合。管理費を割当て。									
全事業				公益事業				収益事業				SUWACO事業				その他事業			
年度				全体				全体				SUWACO事業				その他事業			
予算				実績				実績				実績				実績			
(前年度)				(前年度)				(前年度)				(前年度)				(前年度)			
合計				合計				合計				合計				合計			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目				科目				科目				科目			
科目				科目															

